

平成30年1～3月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

① 今期の業況判断
今期(平成30年1～3月期)の業況判断D Iは (-)58.3 で、前期(平成29年10～12月期) (-54.9)に比べ、3.4 ポイントの悪化。

② 来期の見通し
来期(平成30年4～6月期)の業況見通しD Iは (-)51.3 で、今期の業況判断 (-58.3) に比べ、7.0 ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

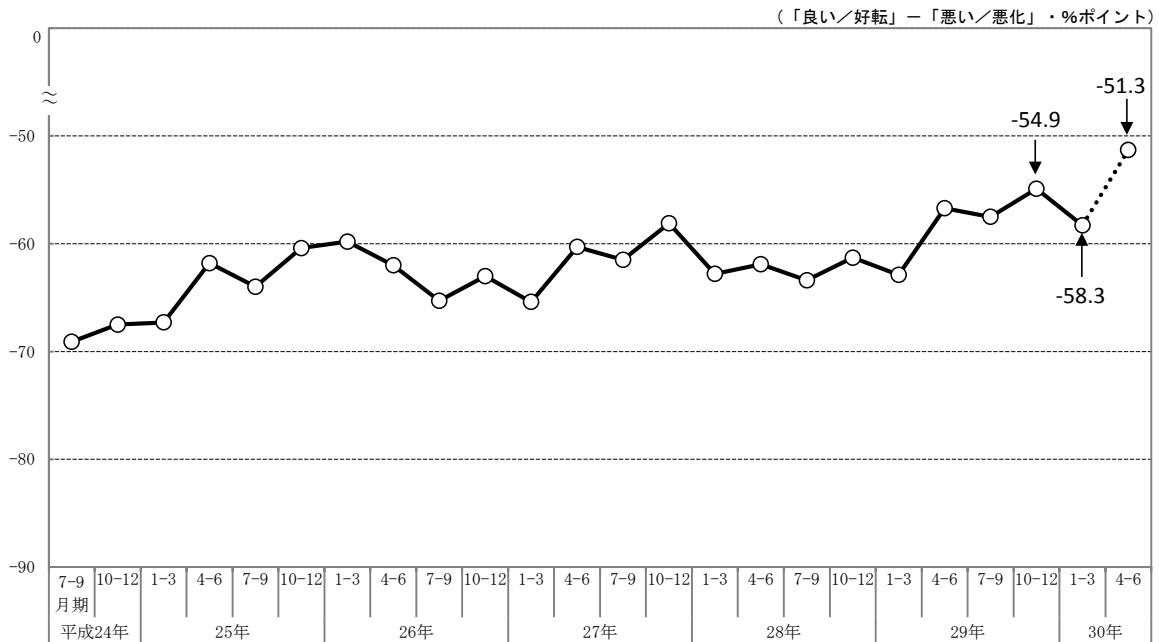


表1 業況判断の割合 —調査産業計—

	平成29年				30年		
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期見通し	
今期の業況, 来期の業況 (%)							
良い/好転	3.4	3.1	3.5	4.6	4.3	4.4	
普通/不変	30.4	37.1	35.5	35.9	33.1	40.0	
悪い/悪化	66.3	59.8	61.0	59.5	62.6	55.7	
D I	-62.9	-56.7	-57.5	-54.9	-58.3	-51.3	
参考	日銀短観(大企業全産業計)	16	20	23	26	23	20
	中小企業景況調査(全産業計)	-28.7	-21.5	-21.9	-20.1	-24.8	-8.1

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成30年4月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	200万9000円で、前年同期に比べ、13.7%の減少
□「卸売業、小売業」は	368万6000円で、前年同期に比べ、11.0%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	218万7000円で、前年同期に比べ、8.6%の増加
□「サービス業」は	112万6000円で、前年同期に比べ、0.4%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	50万4000円で、前年同期に比べ、16.7%の減少
□「卸売業、小売業」は	41万2000円で、前年同期に比べ、43.6%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	38万8000円で、前年同期に比べ、4.3%の増加
□「サービス業」は	38万3000円で、前年同期に比べ、1.6%の増加

※前年同期：平成29年1～3月期

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
実数 (千円)	平成28年 1～3月期	2,293	685	3,566	353	2,253	418	1,134	379
	4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421
	7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427
	10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427
	平成29年 1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377
	4～6月期	2,478	641	3,621	385	2,109	409	1,242	496
	7～9月期	2,431	569	3,648	446	2,245	443	1,189	450
前年同期比 (%)	10～12月期	2,597	770	4,009	397	2,267	415	1,286	470
	平成30年 1～3月期	2,009	504	3,686	412	2,187	388	1,126	383
	平成28年 1～3月期	5.1	15.1	-1.0	-10.4	10.3	12.1	-7.6	-4.1
	4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2
	7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3
	10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3
	平成29年 1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5
4～6月期	14.5	4.6	-1.0	16.7	1.2	11.7	7.4	17.8	
7～9月期	16.2	-1.9	0.3	14.9	6.5	6.0	4.4	5.4	
10～12月期	1.5	11.9	4.9	-2.0	6.9	7.2	7.2	10.1	
平成30年 1～3月期	-13.7	-16.7	11.0	43.6	8.6	4.3	-0.4	1.6	

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	4万円、前年同期（12万1000円）に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	5万9000円で、前年同期（4万6000円）に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	4万2000円で、前年同期（4万6000円）に比べ、減少
□「サービス業」は	2万8000円で、前年同期（4万3000円）に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率（売上高に対する設備投資額の割合）は、	
□「製造業」は	2.0%で、前年同期（5.2%）に比べ、3.2ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	1.6%で、前年同期（1.4%）に比べ、0.2ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	1.9%で、前年同期（2.3%）に比べ、0.4ポイントの低下
□「サービス業」は	2.5%で、前年同期（3.8%）に比べ、1.3ポイントの低下

※前年同期：平成29年1～3月期

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率
		(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
平成28年	1～3月期	70	3.1	53	1.5	55	2.4	72	6.3
	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2
	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
平成29年	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8
	4～6月期	79	3.2	54	1.5	64	3.0	66	5.3
	7～9月期	110	4.5	63	1.7	72	3.2	33	2.8
	10～12月期	98	3.8	57	1.4	140	6.2	42	3.3
平成30年	1～3月期	40	2.0	59	1.6	42	1.9	28	2.5

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年1～3月期）の業況判断D Iは（-）58.3で、前期（平成29年10～12月期）（-54.9）に比べ、3.4ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）49.2で、前期（-39.7）に比べ、9.5ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断D Iは（-）49.1で、前期（-47.6）に比べ、1.5ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年4～6月期）の業況見通しD Iは（-）51.3で、今期の業況判断（-58.3）に比べ、7.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

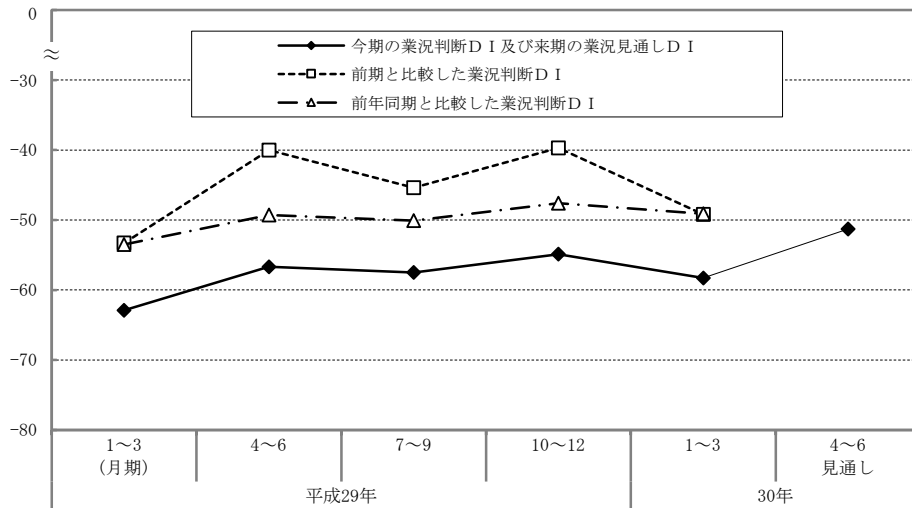
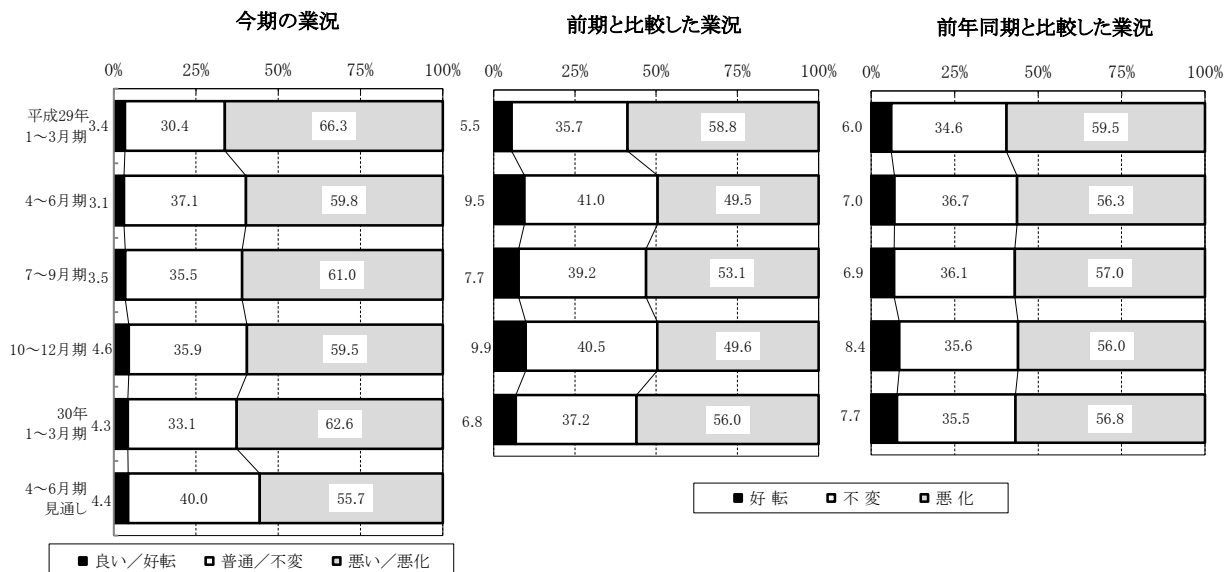


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

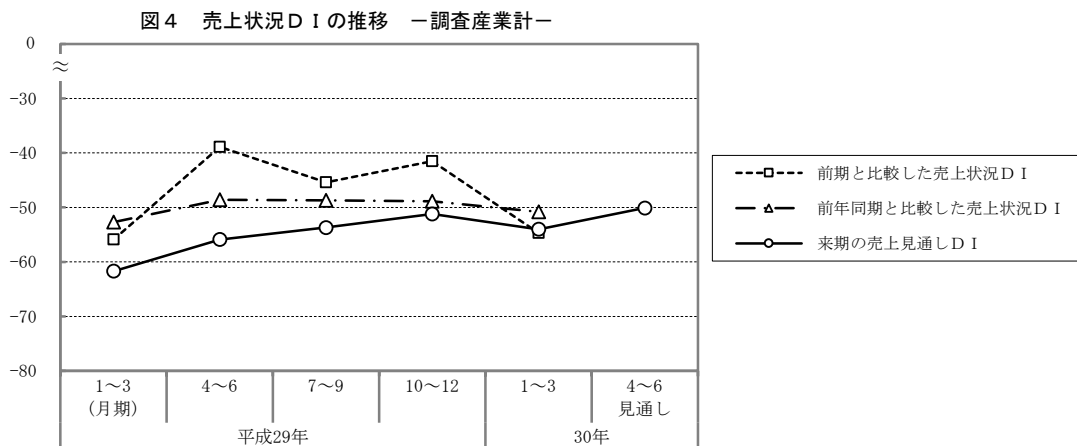
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況D Iは (-)54.7 で、前期 (-41.5) に比べ、13.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況D Iは (-)50.8 で、前期 (-48.9) に比べ、1.9 ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しD Iは (-)50.1 で、前期における今期の売上見通し (-54.0) に比べ、3.9 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

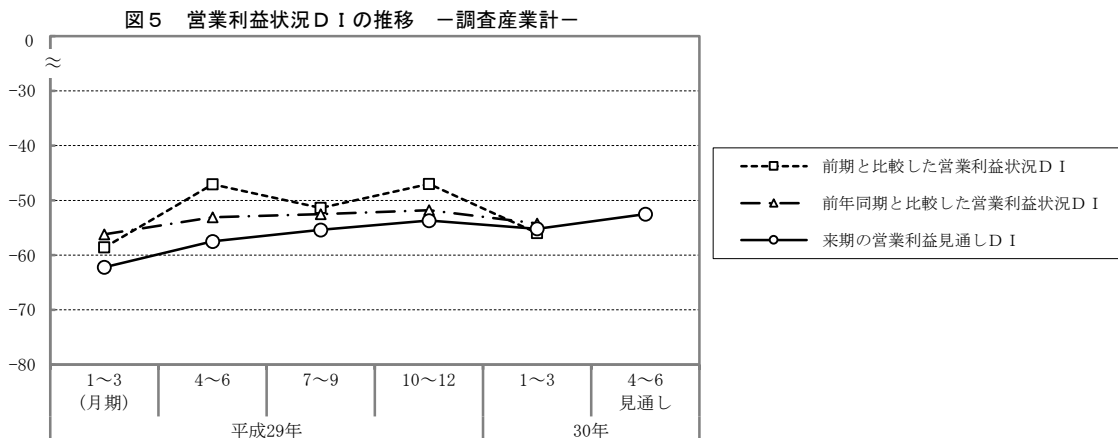
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況D Iは (-)56.0 で、前期 (-47.0) に比べ、9.0 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況D Iは (-)54.2 で、前期 (-51.8) に比べ、2.4 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

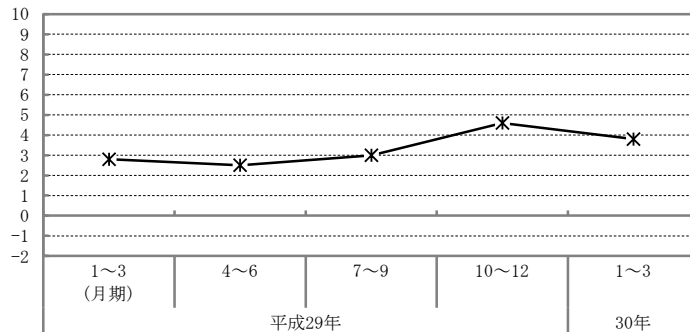
来期の営業利益見通しD Iは (-)52.5 で、前期における今期の営業利益見通し (-55.2) に比べ、2.7 ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.8 で、前期 (+4.6) に比べ、0.8 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

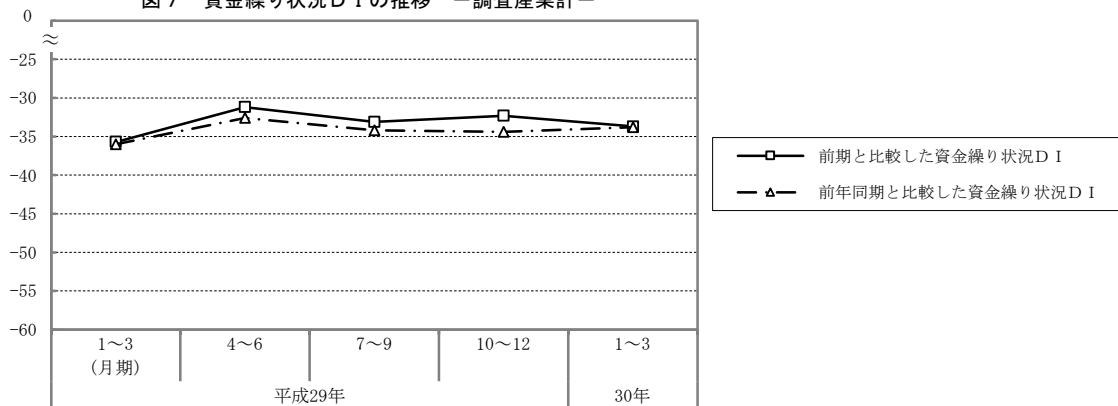


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.7 で、前期 (-32.3) に比べ、1.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.8 で、前期 (-34.4) に比べ、0.6 ポイント改善した。

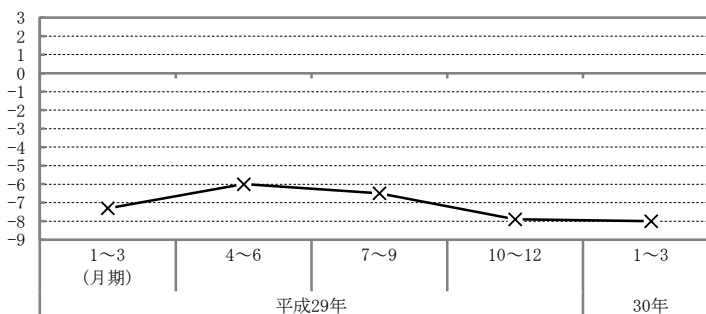
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)8.0 で、前期 (-7.9) に比べ、0.1 ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年1～3月期）の業況判断DIは(-)50.2で、前期（平成29年10～12月期）(-42.4)に比べ、7.8ポイント悪化した。

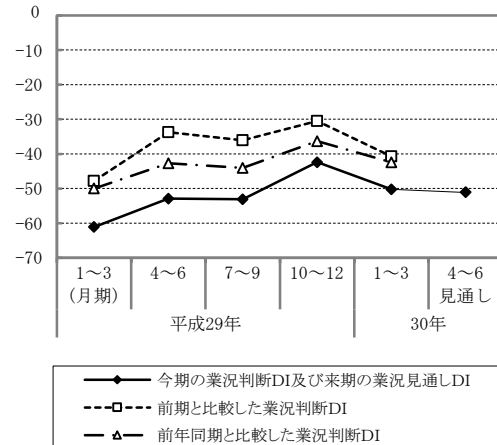
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)40.7で、前期(-30.5)に比べ、10.2ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)42.4で、前期(-36.3)に比べ、6.1ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年4～6月期）の業況見通しDIは(-)51.1で、今期の業況判断(-50.2)から、0.9ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

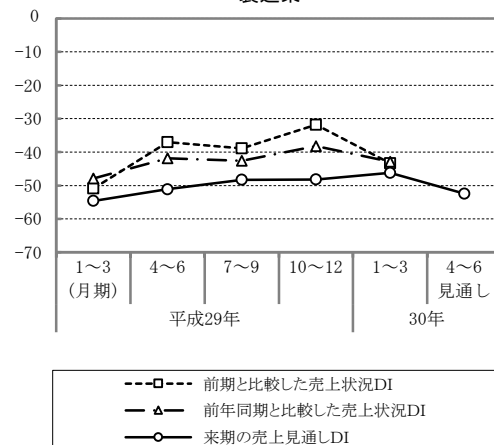
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)43.3で、前期(-31.8)に比べ、11.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)42.9で、前期(-38.2)に比べ、4.7ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)52.4で、前期における今期の売上見通し(-46.2)から、6.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

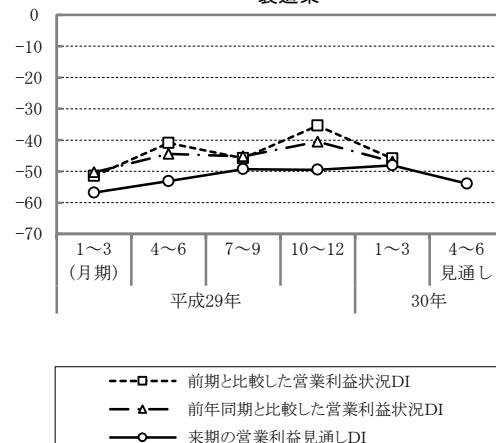
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)45.9で、前期(-35.4)に比べ、10.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)46.9で、前期(-40.5)に比べ、6.4ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)53.9で、前期における今期の営業利益見通し(-48.1)に比べ、5.8ポイントの悪化の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.1 で、前期 (+3.6) に比べ、0.5 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.5 で、前期 (-25.1) に比べ、5.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.4 で、前期 (-27.1) に比べ、3.3 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.7 で、前期 (-5.5) に比べ、1.2 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

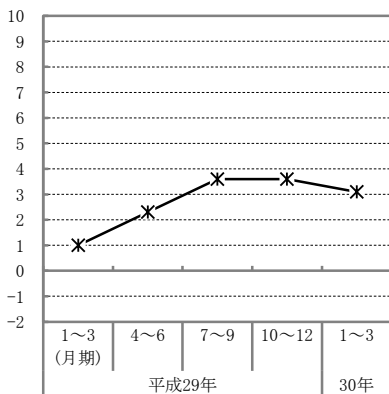


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

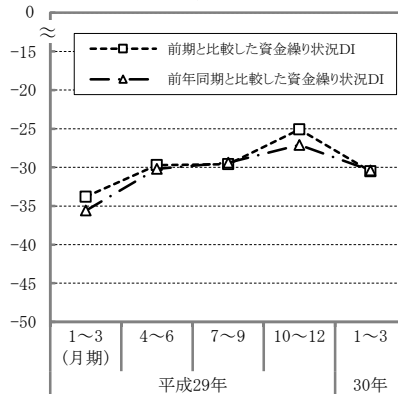
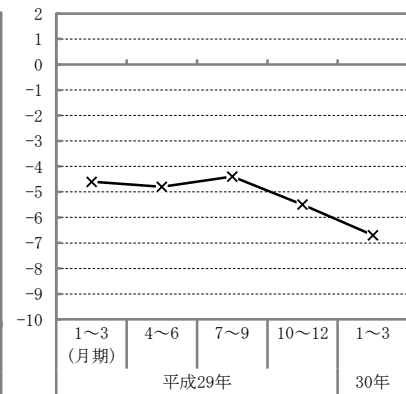


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年1～3月期）の業況判断DIは (-)62.5 で、前期（平成29年10～12月期）(-57.7) に比べ、4.8 ポイント悪化した。

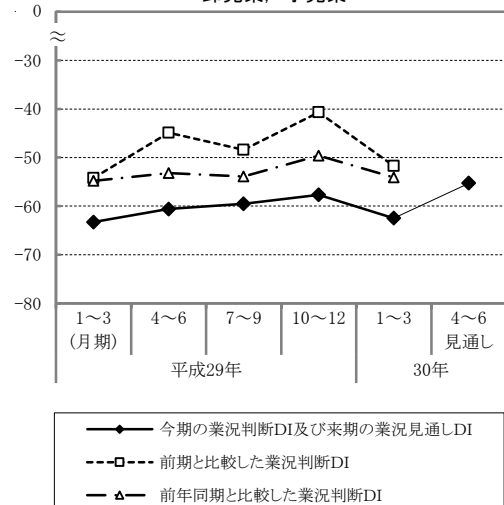
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)51.7 で、前期 (-40.7) に比べ、11.0 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断DIは (-)54.1 で、前期 (-49.6) に比べ、4.5 ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年4～6月期）の業況見通しDIは (-)55.3 で、今期の業況判断(-62.5) に比べ、7.2 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業、小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

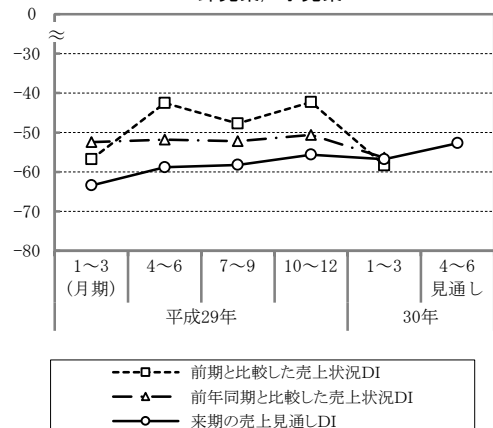
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)58.3で、前期(-42.3)に比べ、16.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)56.4で、前期(-50.6)に比べ、5.8ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)52.7で、前期における今期の売上見通し(-56.8)に比べ、4.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

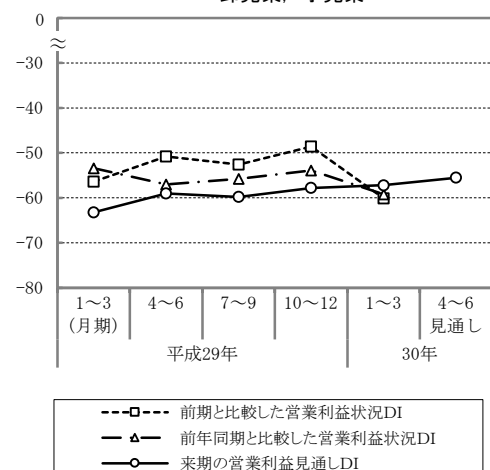
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)60.1で、前期(-48.6)に比べ、11.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)59.2で、前期(-53.9)に比べ、5.3ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)55.5で、前期における今期の営業利益見通し(-57.2)に比べ、1.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+7.4で、前期(+7.0)に比べ、0.4ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.3で、前期(-33.9)に比べ、3.4ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)37.0で、前期(-36.6)に比べ、0.4ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.9で、前期(-7.3)に比べ、0.6ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

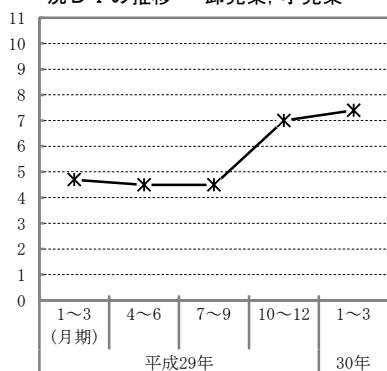


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

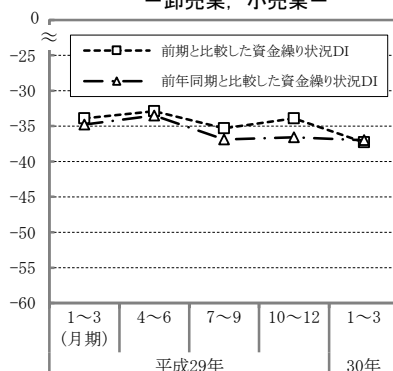


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年1～3月期）の業況判断DIは(-)52.5で、前期（平成29年10～12月期）(-52.0)に比べ、0.5ポイント悪化した。

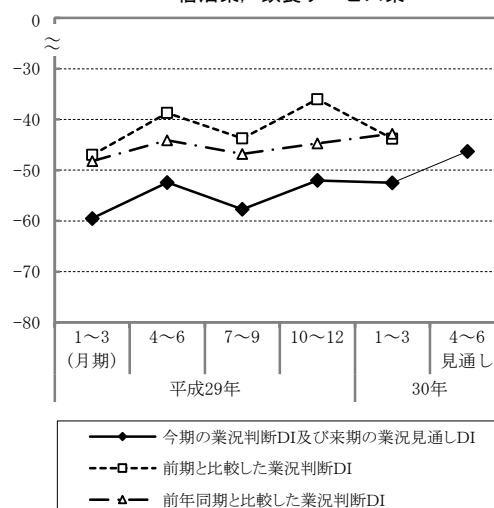
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)43.8で、前期(-36.0)に比べ、7.8ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)42.8で、前期(-44.7)に比べ、1.9ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年4～6月期）の業況見通しDIは(-)46.3で、今期の業況判断(-52.5)に比べ、6.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

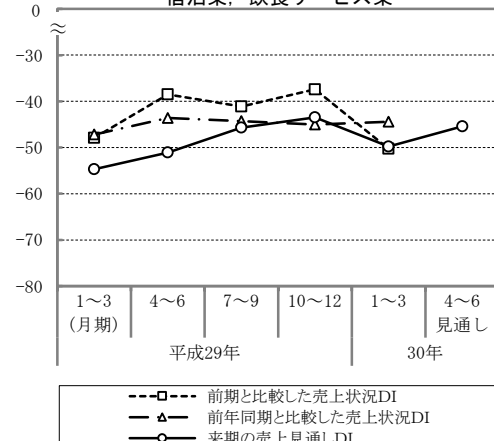
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.3で、前期(-37.4)に比べ、12.9ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)44.4で、前期(-45.0)に比べ、0.6ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)45.4で、前期における今期の売上見通し(-49.8)に比べ、4.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

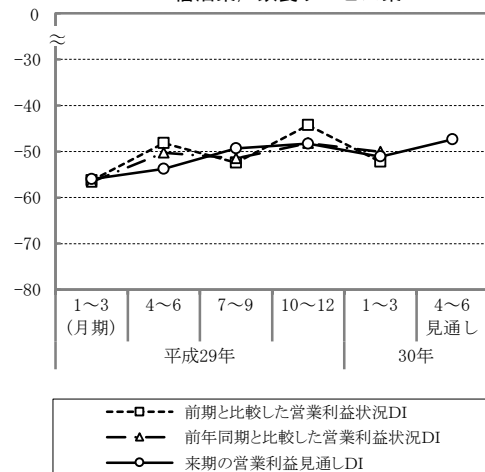
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)52.2 で、前期 (-44.3) に比べ、7.9 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)50.1 で、前期 (-48.2) に比べ、1.9 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)47.4 で、前期における今期の営業利益見通し (-51.1) に比べ、3.7 ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.0 で、前期 (+3.7) に比べ、2.7 ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.1 で、前期 (-33.6) に比べ、2.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.5 で、前期 (-34.2) に比べ、2.7 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)11.0 で、前期 (-11.5) に比べ、0.5ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

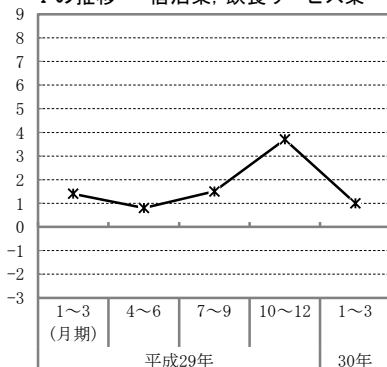


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

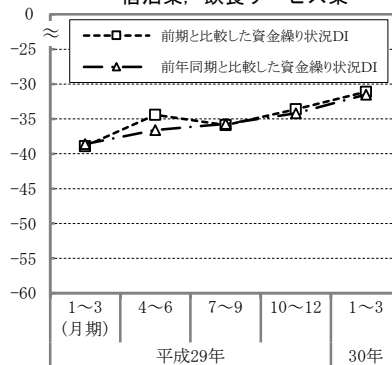
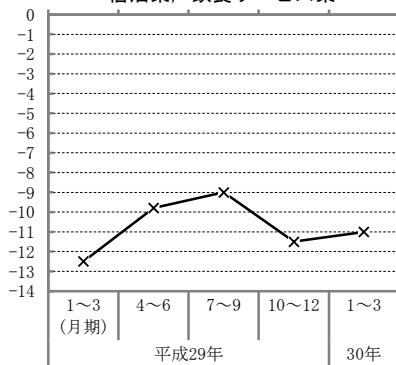


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年1～3月期）の業況判断DIは(-)60.1で、前期（平成29年10～12月期）(-58.3)に比べ、1.8ポイント悪化した。

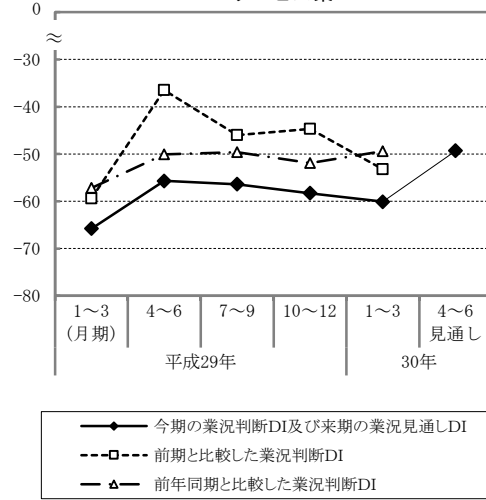
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)53.2で、前期(-44.7)に比べ、8.5ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成29年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)49.4で、前期(-51.9)に比べ、2.5ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年4～6月期）の業況見通しDIは(-)49.3で、今期の業況判断(-60.1)に比べ、10.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

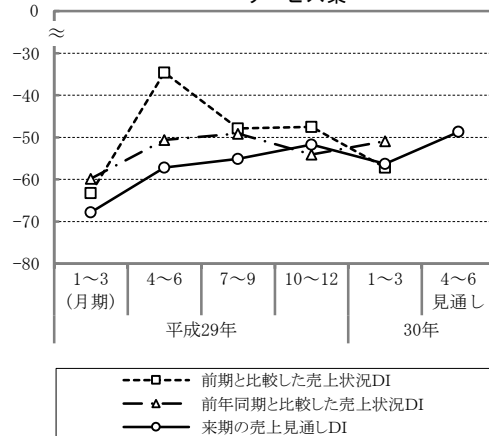
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)57.2で、前期(-47.5)に比べ、9.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.9で、前期(-54.1)に比べ、3.2ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.7で、前期における今期の売上見通し(-56.3)に比べ、7.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

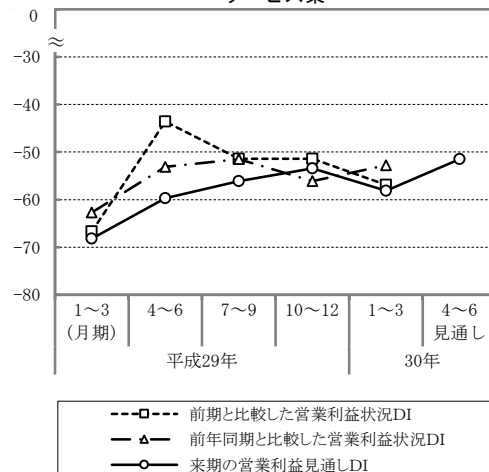
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)56.9で、前期(-51.4)に比べ、5.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)52.8で、前期(-56.1)に比べ、3.3ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)51.5で、前期における今期の営業利益見通し(-58.1)に比べ、6.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.2 で、前期 (+2.0) に比べ、0.8ポイント「過剰」が縮小した。

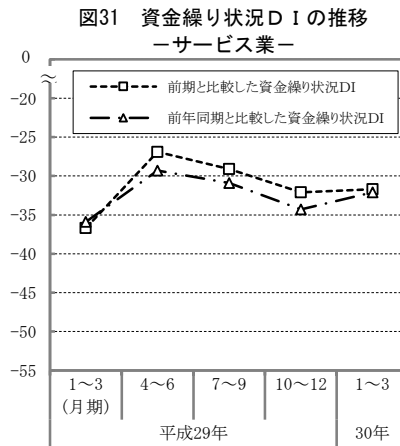
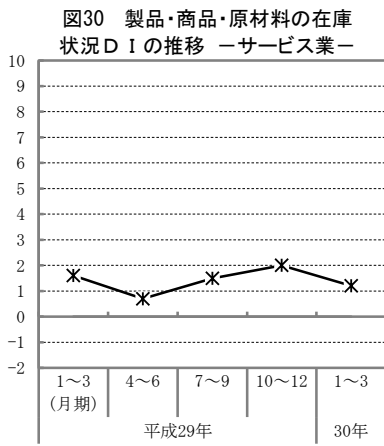
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.7 で、前期 (-32.1) に比べ、0.4ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.1 で、前期 (-34.3) に比べ、2.2ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.6 で、前期 (-7.3) に比べ、0.7ポイント「不足」が縮小した。



Ⅲ 営業収支

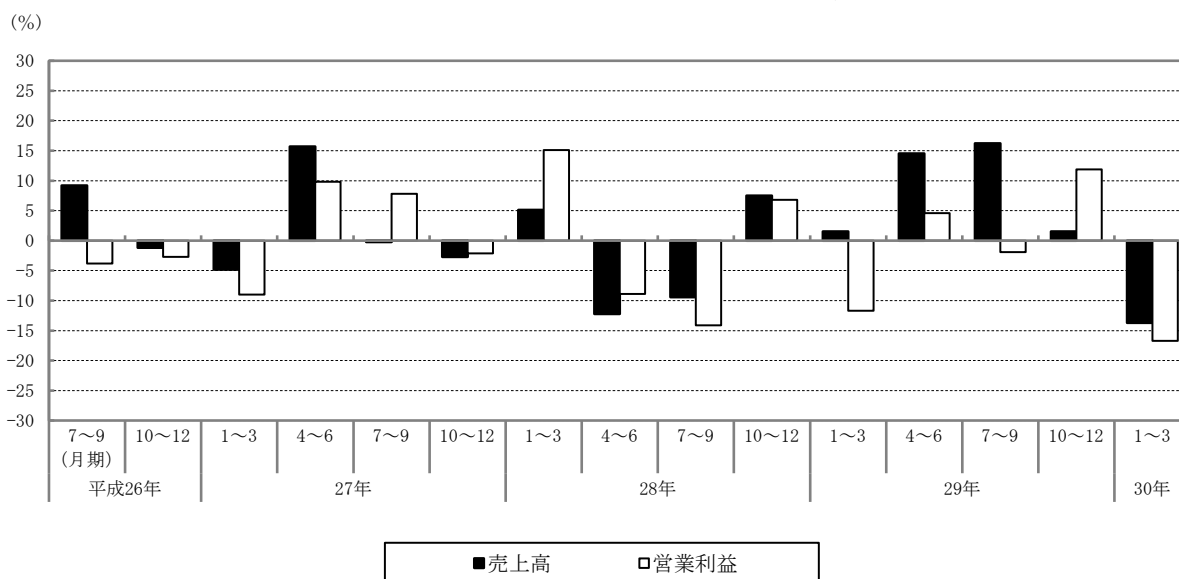
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は200万9000円で、これに対する費用は売上原価が64万9000円、営業費が85万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は50万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)13.7%で、6期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)16.7%で、2期ぶりに減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —製造業—

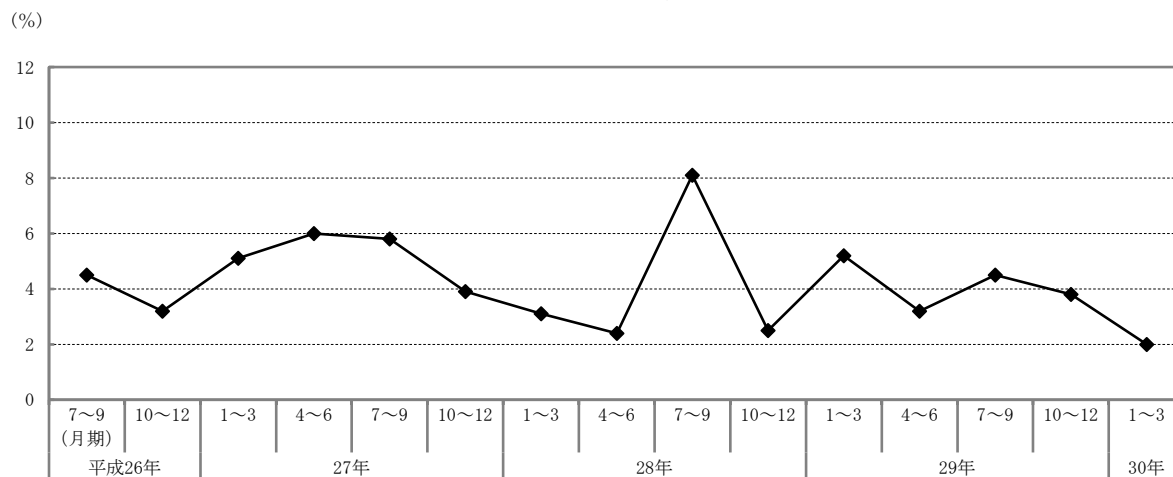


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万円、前年同期(12万1000円)を下回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は2.0%で、前年同期(5.2%)を3.2ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 —製造業—



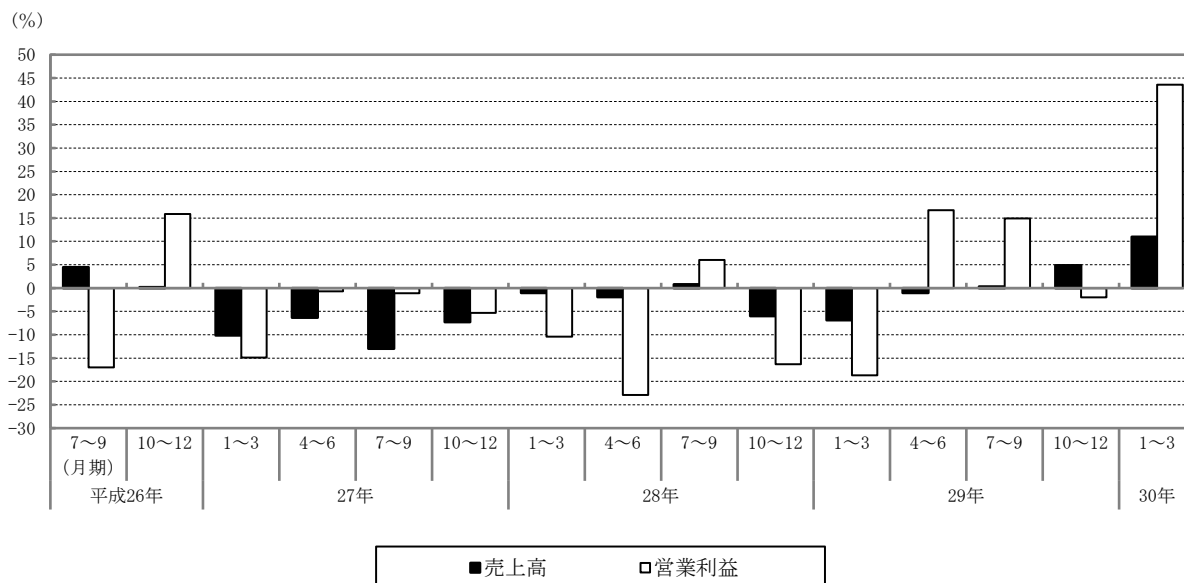
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は368万6000円で、これに対する費用は売上原価が247万9000円、営業費が79万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は41万2000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 11.0% で、3期連続で増加した。また、営業利益は(+) 43.6% で、2期ぶりに増加した。

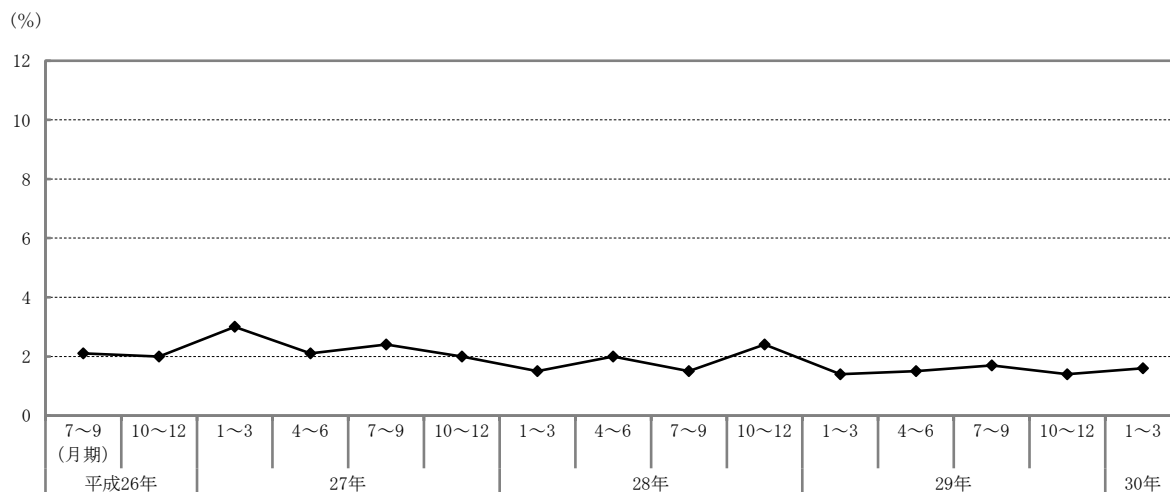
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万9000円で、前年同期(4万6000円)を上回った。また、設備投資率は 1.6% で、前年同期(1.4%)を 0.2 ポイント上回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー



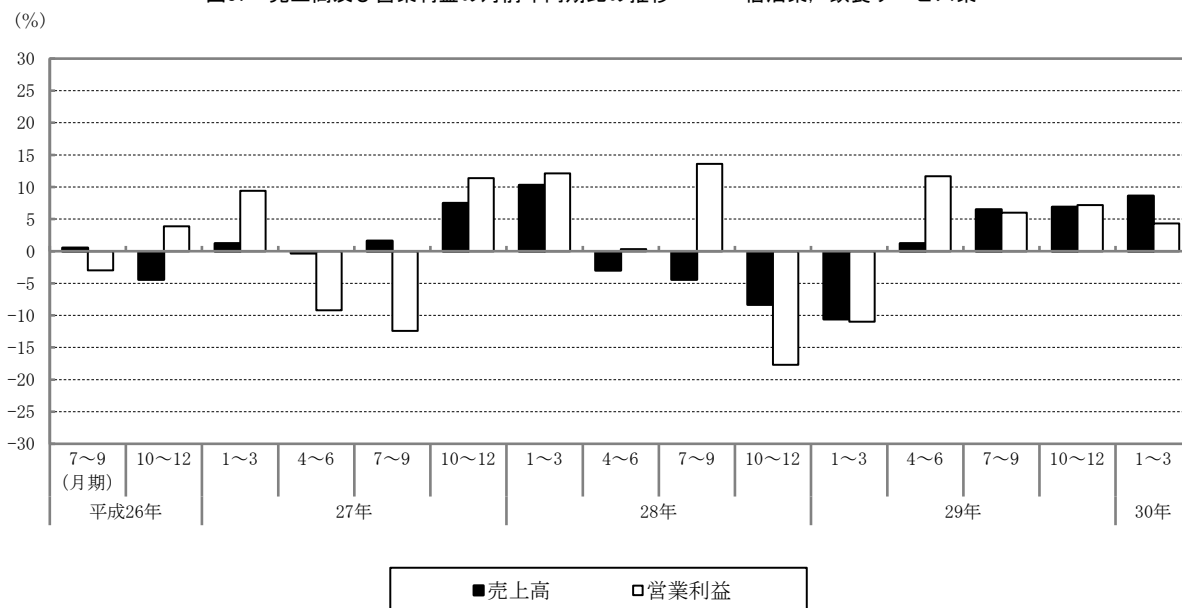
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は218万7000円で、これに対する費用は売上原価が91万9000円、営業費が88万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 8.6% で、4期連続で増加した。また、営業利益は(+) 4.3% で、4期連続で増加した。

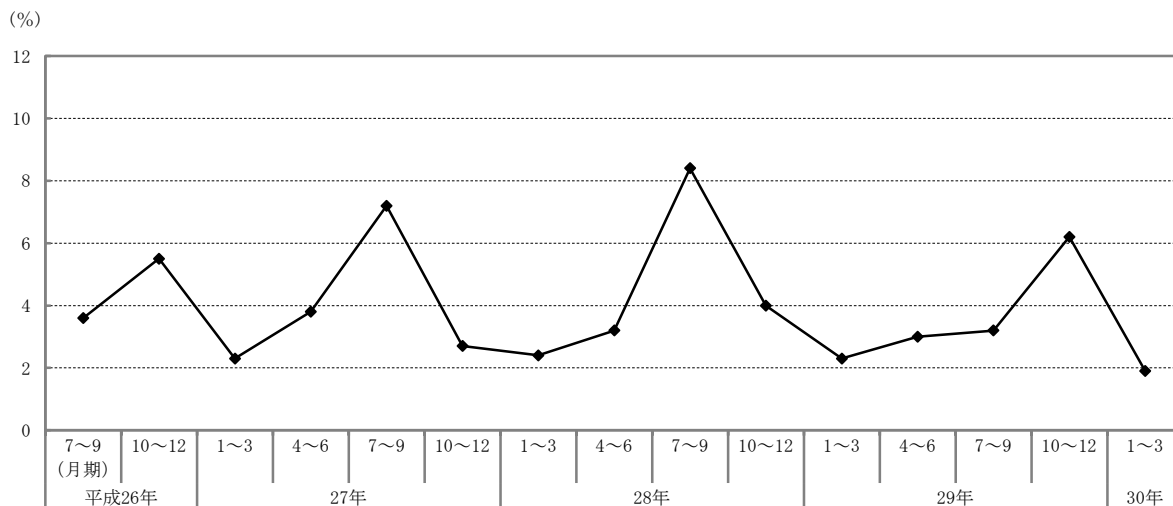
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万2000円で、前年同期(4万6000円)を下回った。また、設備投資率は 1.9% で、前年同期(2.3%)を 0.4 ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



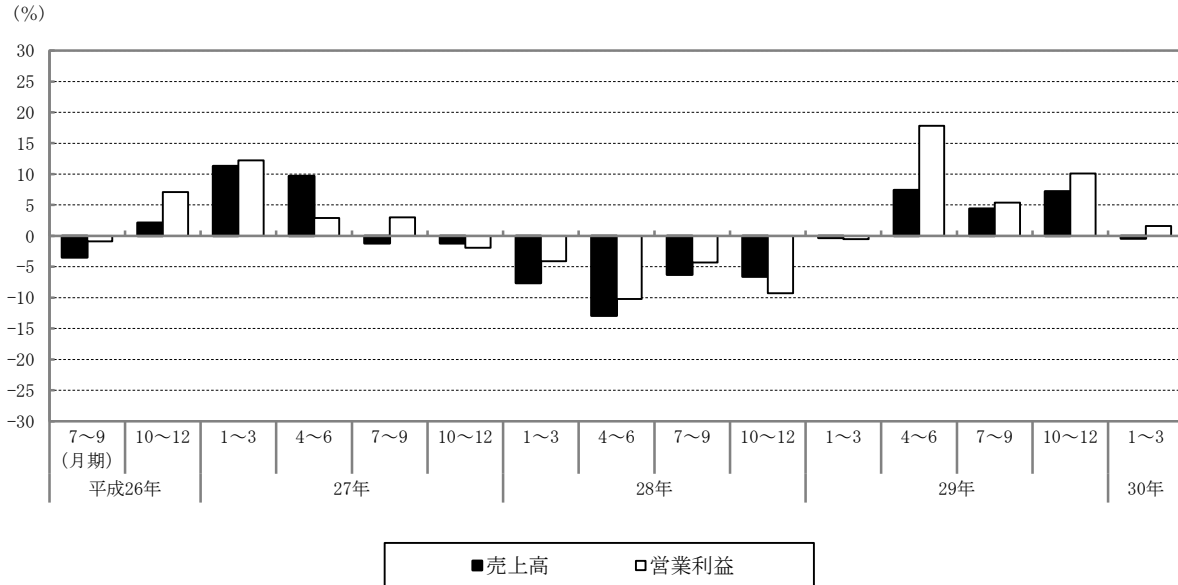
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は112万6000円で、これに対する費用は売上原価が18万2000円、営業費が56万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.4%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+1.6%)で、4期連続で増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は2万8000円で、前年同期(4万3000円)を下回った。また、設備投資率は2.5%で、前年同期(3.8%)を1.3ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

